

## 第二部 事業概要

# I 施設概要及び沿革

## 1 設立理念

- 市民の戦争体験や当時の暮らしを物語る資料などを保存・継承していく施設
- 戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについて考える機会を提供する施設

## 2 開館の背景

戦時中、北九州地域(以下、「北九州」という)においては、1945年8月8日の「八幡大空襲」をはじめ、数多くの戦争の悲劇がもたらされた。また、8月9日には、原爆を搭載したB29が第一投下目標であった小倉陸軍造兵廠に飛来したが、視界が悪く第二目標の長崎に向かった。私たちは、現在の私たちの平和と繁栄が、過去の戦争による多くの尊い犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはならない。

戦後、長い時間が経過し、戦争の悲惨な体験や戦時下の暮らしを知らない世代がほとんどとなり、戦争の記憶が風化していくことが全国的に懸念される中、北九州市では、2010年に「北九州市非核平和都市宣言」を行い、様々な平和への取り組みを進めてきた。

そして、北九州で起きた戦争の悲劇や市民の暮らしを後世に伝える施設として、令和4年4月に「北九州市平和のまちミュージアム」を設置した。

## 3 施設概要

### ■ 名称

北九州市平和のまちミュージアム

### ■ 住所

北九州市小倉北区城内4番10号

### ■ 開館日

2022年4月19日

### ■ 構造等

鉄骨造(地上1階)約940㎡

### ■ 諸室構成

展示室(約340㎡)、収蔵庫(約125㎡)、多目的室(約70㎡)など

### ■ 入館料

|           | 一般   | 中学生・高校生 | 小学生 |
|-----------|------|---------|-----|
| 個人        | 200円 | 100円    | 50円 |
| 団体(30名以上) | 160円 | 80円     | 40円 |

### ■ 開館時間

9:30~18:00(最終入館は17:30)

### ■ 休館日

月曜日(祝日の場合は火曜日)、年末年始、その他(館内整理日)



## 4 沿革

- 2016年12月 ・ 北九州市が戦時資料の充実を図り、資料を保存・調査研究・活用をするために「資料館」建設の計画を表明
  - ・ 「(仮称)平和資料館のあり方を考える懇話会」設置
- 2017年 1月～ ・ 「(仮称)平和資料館のあり方を考える懇話会」開催
  - 開催実績 第1回:2017年1月18日
  - 第2回:2017年2月15日
  - 第3回:2017年3月24日
  - 第4回:2017年4月18日
  - 第5回:2017年5月24日
- 2018年 1月 ・ 「(仮称)平和資料館基本計画(案)」策定
  - 11月 ・ 「(仮称)平和資料館基本設計(案)」策定
- 2019年 8月 ・ 「(仮称)平和資料館解説準備懇話会」設置
  - 8月～ ・ 「(仮称)平和資料館解説準備懇話会」開催
    - 開催実績 第1回:2019年8月27日
    - 第2回:2020年1月30日
    - 第3回:2020年8月26日
    - 第4回:2021年7月1日
    - 第5回:2022年1月14日
- 2021年10月 ・ 「北九州市平和のまちミュージアム条例」公布
- 2022年 4月 ・ 19日、「北九州市平和のまちミュージアム条例」施行、北九州市平和のまちミュージアム開館、開館記念式典開催
  - ・ 北九州市平和のまちミュージアム開館記念企画展「原子爆弾と模擬爆弾“パンプキン”」(4月19日～8月28日)
  - 7月 ・ 22日、「北九州市平和のまちミュージアム運営懇話会」設置
  - 9月 ・ 企画展「“軍都”北九州の歩みとその痕跡」(9月3日～10月30日)
  - 11月 ・ 企画展「令和4年度 収藏品展」(11月12日～1月22日)
- 2023年 2月 ・ 北九州市制60周年記念事業・企画展「『北九州市ができるまで』～戦後復興の軌跡～」(2月4日～5月7日)
- 4月 ・ 開館1周年記念イベント開催(4月18日～8月27日)

- 5月 ・ 北九州市平和のまちミュージアム開館1周年記念企画展「B-29がやってきた～北九州初空襲～」(5月20日～7月23日)
- 6月 ・ 18日、日本展示学会賞受賞
- 8月 ・ 企画展「〈灰色〉の日常－戦争を支えた人びとの暮らし－」(8月1日～9月3日)
  - ・ 24日、「北九州市平和のまちミュージアム運営懇話会」開催
- 9月 ・ 企画展「われら少国民～戦時下の子どもたち～」(9月16日～12月10日)
- 12月 ・ 企画展「あなたに語り継ぐ、北九州の思い出－令和5年度収蔵品展－」(12月23日～4月7日)
- 2024年 3月 ・ 18日、博物館法に基づく登録博物館となる
  - ・ 26日、映像資料「北九州 ～戦争の記憶～2 私たちの約束」完成記者会見

## II 開館1周年記念事業

令和4年4月19日の開館から1周年を記念して、オリジナルグッズのプレゼント、ガラポン抽選会など、さまざまなイベントを開催した。

### ■ 開催期間

2023年4月18日(火)～2023年8月27日(日)

### ■ 開催場所

北九州市平和のまちミュージアム

## III 展示事業

### 1 常設展示

#### (1) 概要

北九州の戦前から戦後にかけて、五市合併による北九州市の成立にいたるまでの、地域の人々の暮らしの変化のなかに、北九州における戦争の時代を位置付けて展示している。市民の戦争体験の記憶や、当時の暮らしを物語る日用品等を通して、当館の目的の一つである、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考える場を提供している。

常設展示の構築にあたっては、北九州市民の戦争体験の記憶84件を編集した『後世に語り継ぐ北九州市民の戦争体験』(北九州市総務局総務課 2017)を重要な資料として活用した。

展示にあたっては、実物資料に加え、来館者が当時の暮らしを体感できるよう、映像や音響設備を駆使している。

## (2) 各展示ゾーン

### 「1 戦前の北九州」

旧五市(門司、小倉、若松、八幡、戸畑)の特色や、活気があった1920年代後半から1930年代の北九州の繁栄と市民の暮らしを展示している。また、小倉と軍との深い関わりを紹介し、プロジェクションマッピングを用いて小倉陸軍造兵廠をリアルに再現している。



### 「2 戦争と市民の暮らし」

当時の一般的な家庭の暮らしがわかる再現展示や、子どもたちの生活等がわかる実物資料を提示し、日々の暮らしが戦争と隣り合わせにあったことを語っている。



### 「3 広がる戦争と空襲」

当時の写真をはじめ、焼夷弾の実物大の模型など、市民を襲う空襲に関連する資料を展示している。特に「360度シアター 運命の1945年8月8日・9日」では、8月8日の八幡大空襲、そして翌9日に原爆を搭載したB29爆撃機が、投下第一目標地である小倉上空に飛来した後、第二目標地である長崎に向かった出来事を、アニメーションと最新の音響設備を駆使して再現した。



### 「4 終戦の混乱と戦後復興」

旧五市が復興への歩を進める姿を映像や写真、実物資料で紹介し、再び発展を始め、1963年に旧五市が合併して北九州市が誕生するまでの“まち”の移り変わりを語っている。



## 2 企画展示

2023年度は、4回の企画展を実施し、北九州地域の空襲、戦時下での人びとの暮らしや子どもたちの学校生活を取り上げた。

### (1) 開館1周年記念企画展「B-29 がやってきた～北九州初空襲～」

## ■ 展示概要

1944(昭和 19)年 6 月 16 日、日本本土初となる B29 による空襲が北九州で行われた。この展示では、日本本土空襲の研究家・工藤洋三氏の協力のもと、米国立公文書館所蔵資料や当館所蔵の資料等を用い、北九州初空襲の準備段階から空襲の被害、空襲後の展開までを俯瞰し、その実相を明らかにした。

開催期間中に、学芸員によるギャラリートークのほか、特別講演会も実施した。

## ■ 開催期間

2023 年 5 月 20 日(土) ~ 2023 年 7 月 23 日(日)

## ■ 開催場所

北九州市平和のまちミュージアム企画展示室

## ■ 学芸員によるギャラリートーク

2023 年 6 月 4 日(日)、7 月 16 日(日)のいずれも 14:00~14:30

## ■ 開館 1 周年記念特別講演会

日時:2023 年 6 月 18 日(日) 13:30 開演

場所:北九州市立子ども図書館 2 階 大研修室(小倉北区城内 4 番 1 号)

講師:工藤洋三氏

(元徳山工業高等専門学校教授、空襲・戦災を記録する会全国連絡会議事務局長)

講演テーマ:「アメリカが記録した北九州初空襲」

定員:100 名(無料)

## (2) 企画展「〈灰色〉の日常－戦争を支えた人びとの暮らし－」

## ■ 展示概要

いわゆる「銃後」に着目した企画展。直接戦闘に参加した兵士を支える後方の社会には、学徒動員により軍需産業を支えた学生たちや国防婦人会の活動に精を出した女性たち、戦争ごっこに夢中になった子どもたちがいた。その銃後の暮らしから、戦時下の日常生活をリアルに読み解く。

この企画展は、毎年、福岡県が県内 4 地区で順番に開催している「福岡県戦時資料展」とタイアップして実施した。

## ■ 開催期間

2023 年 8 月 1 日(火)~2023 年 9 月 3 日(日)

## ■ 開催場所

北九州市平和のまちミュージアム内 企画展示室

## ■ 学芸員によるギャラリートーク

2023 年 8 月 11 日(金・祝)、8 月 27 日(日)のいずれも 14:00~14:30

## ■ 平和のまちミュージアム 夏期講演会

日時:2023 年 8 月 20 日(日) 13:30 開演

場所:北九州市立子ども図書館 2 階 大研修室(小倉北区城内 4 番 1 号)

講師:原田小鈴氏(被爆三世・家族証言者)

講演テーマ:「二重被爆～ヒロシマ・ナガサキ記憶の継承～」

定員:100 名(無料)

### (3) 企画展「われら少国民～戦時下の子どもたち～」

#### ■ 展示概要

太平洋戦争中、現在の小学生くらいの子どもは「少国民」と呼ばれ、当時、男の子は将来の軍人、女の子は「軍国の母」となるべく学校教育が行われた。

本企画展では、戦時中の北九州地域における子どもたちの暮らしぶりを紹介し、戦争が子どもたちの生活にどのような影響を与えたのかを探った。

#### ■ 開催期間

2023年9月16日(土)～2023年12月10日(日)

#### ■ 開催場所

北九州市平和のまちミュージアム内 企画展示室

#### ■ 学芸員によるギャラリートーク

2023年10月1日(日)、11月26日(日)のいずれも14:00～14:30

### (4) 企画展「あなたに語り継ぐ、北九州の思い出ー令和5年度収蔵品展ー」

#### ■ 展示概要

2023(令和5)年度に寄贈されたものを中心に、北九州ゆかりの資料を展示した。本企画展では、常設展示ではあまり語られていない個人の体験に焦点を当て、家族が遺した思い出の品を、時代を物語る、後世に遺すべき「資料」として生まれ変わらせた。

#### ■ 開催期間

2023年12月23日(土)～2024年4月7日(日)

#### ■ 開催場所

北九州市平和のまちミュージアム内 企画展示室

#### ■ 学芸員によるギャラリートーク

2024年1月14日(日)、2月10日(土)、3月20日(水・祝)のいずれも14:00～14:30

## IV 第7回日本展示学会賞受賞

#### ■ 授与団体

日本展示学会

(大学に所属する研究者、展示施設職員などで構成された、会員数約500名の団体)

#### ■ 日本展示学会賞

日本展示学会誌「展示学」に掲載された施設・展示で、社会的・文化的見地からきわめて高い水準が認められ、芸術・技術の総合的発展に寄与する優れた展示について選定される。

#### ■ 授賞式

・ 日程 2023年6月18日(日)

・ 場所 オーテピア(高知県高知市)(日本展示学会研究大会において)

#### ■ 受賞理由

・ “まち”をテーマに、関連資料に加え様々な映像・音響技術を活用し、事実即したわ

かりやすい展示を行っており、単に戦争被害を記憶する施設にとどまらない奥行きを与えている。

- ・ 戦時下の子どもたちの暮らしや心情を実感できるような工夫が凝らされており、来館者の心に残る印象的な展示を行っている。
- ・ 「戦争を知らない世代」にも戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えることに成功している。

## V 資料収集・保存事業

### ■ 2023 年度の新規寄贈資料

2023 年 4 月～2024 年 3 月末までに、25 名の方から計 996 点の資料の寄贈を受け、目録化を行った。

新規寄贈資料のうち、代表的なものを以下に掲げる。

#### ① 小倉陸軍造兵廠トロフィー



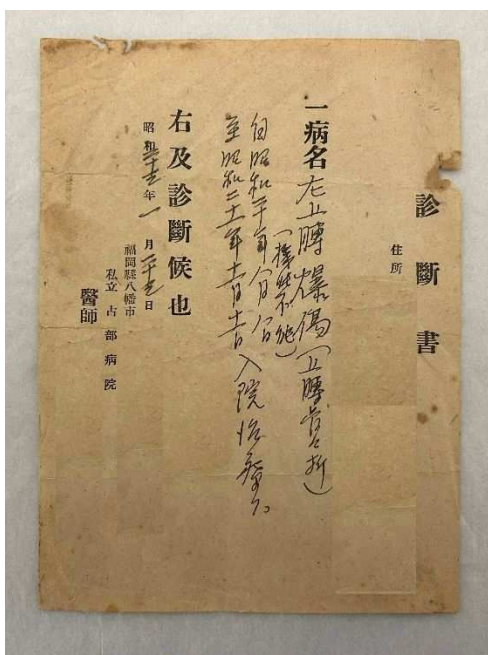
「贈 小倉陸軍造兵廠」と刻まれている、砲弾型トロフィー。造兵廠で勤務されていた方のもの。

#### ② 大日本国防婦人会戸畑支部中分会慰問袋発送記念写真



1939(昭和14)年1月に、戸畑駅前と思われる場所で撮影されたもの。割烹着にタスキ姿の女性たちが多数写る。また、要塞地帯内での撮影を禁ずる立札の一部が写っている。

### ③ 診断書



昭和20(1945)年8月8日の八幡大空襲において、焼夷弾の直撃をうけ、左上腕骨骨折の重傷を負った人物に発行された診断書。

### ■ 収蔵資料の点数 (2025年3月末現在)

|       | 資料分類      | 点数  |             | 資料分類      | 点数  |
|-------|-----------|-----|-------------|-----------|-----|
| 紙類    | 手紙・はがき    | 786 | 金属類         | 金属製食器類    | 15  |
|       | 債券・証券     | 377 |             | 飯盒        | 12  |
|       | 通知書・証書・書類 | 697 |             | 水筒        | 17  |
|       | 写真・アルバム   | 477 |             | 鉄兜        | 1   |
|       | 日記・手記     | 34  |             | 弾丸・砲弾     | 15  |
|       | 手帳        | 54  |             | 金属製日用品    | 23  |
|       | 書籍・冊子     | 239 |             | その他金属類    | 26  |
|       | 雑誌        | 37  | その他         | 勲章・記章類    | 280 |
|       | ビラ・チラシ    | 62  |             | 紙幣・貨幣・軍票  | 215 |
|       | 絵画・ポスター   | 35  |             | 陶磁器類・ガラス類 | 306 |
|       | 地図        | 15  |             | その他食器     | 4   |
|       | 新聞・スクラップ  | 77  |             | 木製物品      | 22  |
|       | 通帳・切符     | 125 |             | 電球        | 1   |
| その他紙類 | 318       | 腕章  | 17          |           |     |
| 布類    | 軍服類・軍帽    | 119 | 階級章(襟章・肩章類) | 50        |     |
|       | 軍靴・ゲートル   | 29  | フィルム・ビデオ    | 5         |     |
|       | その他軍用品    | 40  | レコード        | 2         |     |
|       | カバン・行李    | 25  | 木箱類         | 12        |     |
|       | 防空頭巾      | 2   | その他雑類       | 59        |     |

|  |         |     |       |
|--|---------|-----|-------|
|  | 一般衣類    | 14  |       |
|  | 袋類      | 26  |       |
|  | 日の丸寄せ書き | 27  |       |
|  | 千人針     | 4   |       |
|  | その他布類   | 48  |       |
|  |         | 合 計 | 4,749 |

## VI 映像資料

### ■ 既存資料

「北九州 ～戦争の記憶～ 私たちへの伝言」(DVD)

### ■ 2023 年度制作資料

「嘉代子桜」(DVD)

「北九州 ～戦争の記憶～2 私たちの約束」(DVD)

## VII 教育普及事業

当館では、展示と資料収集だけでなく、小学生の「平和のまちスタディツアー」の実施、各種の講座の開催、長崎市や広島市との交流などに多くの力をそそいできた。こうした事業と、展示事業との相関のなかで、より幅広くそして深い学びにむけた筋道を作り出すことを目指している。

また、前年度に続き、2023 年度も北九州市立大学を始めとする近隣の大学との連携に注力した。教育機関であり、また研究機関でもある大学との連携は、若い世代と当館との関係を構築するとともに、当館の調査・研究機能を一層高度にしていくために重要であると位置づけている。

### 1 平和のまちスタディツアー

#### ■ 概要

2022 年度から引き続き、実施。北九州市内の小学 6 年生を対象に、当館での学芸員等による展示解説や、本市独自に作成した副読本を用いた平和学習を行うとともに、近隣の歴史・文化施設(松本清張記念館・文学館・小倉城)や議会棟を見学する。

参加する各学校の児童は、平和学習に加えて、地域の歴史・文化、議会や選挙制度(主権者教育)を学ぶ。

#### ■ 対象

原則として小学 6 年生(私立小学校も含む)

#### ■ 内容

##### ① 訪問施設

「平和のまちミュージアム」 + 下記コースの施設(1コースを選択)

| コース | 訪問施設                                       |
|-----|--|
| A   | 議会棟(時期は6月中旬～7月、10月～11月、1月～2月中旬に限る)         |
| B   | 文学館&松本清張記念館<br>※ 原則、両施設を訪問 ただし、文学館のみの訪問日あり |
| C   | 子ども図書館                                     |
| D   | 小倉城(小倉城庭園)<br>※ 小倉城庭園の訪問も可能                |
| E   | その他(水環境館見学、勝山公園散策等)<br>※ 徒歩圏内、各学校で要調整      |

② 学習パターン

「平和のまちミュージアム」のほか、A～Eのいずれかのコースを「午前」あるいは「午後」の半日で訪問する。

③ 時間設定

「平和のまちミュージアム」とA～Eのうち1コースをそれぞれ「60分」

|    | 先に訪問する施設      | 後に訪問する施設      |
|----|---------------|---------------|
| 午前 | ① 9:30～10:30  | ② 10:45～11:45 |
| 午後 | ① 13:15～14:15 | ② 14:30～15:30 |

④ 受入単位

2クラス程度(上限80人程度)

⑤ 実施時期

2023年4月～2024年3月(学校の長期休業日を除く)

⑥ 実施曜日

火曜日、水曜日、木曜日、金曜日(祝日は不可)

■ 実績(次ページ付表参照)

スタディツアーで当館に来館した学校数は126校、総計7,892名であった。各校が選択した見学場所を含めた実績は、以下の通りである。模擬選挙を実施した議会棟、クイズラリーを実施した文学館など各施設とも、参加者の興味にうたえる工夫を凝らして対応した。

■ 大学生ボランティアの活用

前年度同様、当館にスタディツアーで来館した小学生の展示案内に、北九州市立大学の421Lab.所属の学生がボランティアで参加した。参加者は前年度の4名から7名に増加し、計30校、延べ55回参加となった。ボランティアの学生は、生徒たちの誘導や声掛けをして展示物に集中させ、関心を起こさせるなど、当館スタッフに準じて活躍し、スタディツアーをより効果的なものとした。

## 【付表】

### 令和5年度 平和のまちスタディツアー実績

| 月  | A             | B                | C            | D             | E          | 合計<br>(校) | 児童・教員数<br>(人) |
|----|---------------|------------------|--------------|---------------|------------|-----------|---------------|
|    | 議会棟           | 文学館<br>&<br>松本清張 | 子ども<br>図書館   | 小倉城           | その他        |           |               |
| 6  | 4<br>(323人)   | 2<br>(164人)      | 2<br>(90人)   | 24<br>(1594人) |            | 32        | 2,171         |
| 7  | 14<br>(791人)  |                  | 2<br>(255人)  | 3<br>(194人)   | 1<br>(14人) | 20        | 1,254         |
| 8  |               |                  | 1<br>(8人)    | 2<br>(93人)    |            | 3         | 101           |
| 9  |               |                  | 2<br>(65人)   | 15<br>(919人)  | 1<br>(5人)  | 18        | 989           |
| 10 | 14<br>(709人)  | 2<br>(183人)      | 1<br>(37人)   | 5<br>(320人)   |            | 22        | 1,249         |
| 11 | 16<br>(925人)  | 1<br>(142人)      | 1<br>(34人)   | 7<br>(378人)   |            | 25        | 1,479         |
| 12 |               |                  |              | 2<br>(307人)   |            | 2         | 307           |
| 1  |               |                  | 1<br>(68人)   | 1<br>(106人)   |            | 2         | 174           |
| 2  | 1<br>(62人)    |                  |              | 1<br>(106人)   |            | 2         | 168           |
| 合計 | 49<br>(2810人) | 5<br>(489人)      | 10<br>(557人) | 60<br>(4017人) | 2<br>(19人) | 126       | 7,892         |

## 2 出前授業

平和のまちミュージアムへの来館を促すだけでなく、館から学芸員等職員が学校等に向き、平和授業等を行う出前授業を開始した。2023年度は、7月11日(火)に北九州市立篠崎中学校で実施し、全学年約550名が参加した。

## 3 夏期講演会

二度の直接被爆が初めて公式に認定された、「二重被爆者」である山口彊氏を祖父に持つ原田小鈴氏の講演会を開催した。原田氏は祖父の思いを引き継ぎ、家族の被爆体験と非核平和への思いを次世代に語り継ぐ取り組みを行っている。

戦争体験者が少なくなる中、次世代を担う生徒・学生に参加しやすいよう、夏休み期間中に開催日を設定した。

### ■ 日程

2023年8月20日(日) 13:30~15:00

### ■ 講師

長崎市家族証言者 原田 小鈴 氏

## 4 長崎市との交流事業

### (1) 青少年ピースフォーラム派遣事業

北九州市では市の平和事業の一環として、2014 年より青少年ピースフォーラム派遣事業を実施してきた。2022 年度からは当館が事業を引き継ぎ、当館の展示の見学、講義などにより、事前学習を十分行ったうえで、長崎派遣に臨むなど、深い学びの経験となるよう工夫している。

#### ■ 概要

全国の小・中学生等が長崎市に集い、被爆体験講話や平和祈念式典への参加などを通じて被爆の実相や平和の尊さを学習する「青少年ピースフォーラム」(長崎市主催)に小中学生等を派遣し、全国から派遣される青少年と一緒に被爆の実情等を学習する予定であったが、台風の影響によりプログラムが大幅に変更されたため、日帰りの行程で実施した。

#### ■ 日程及び内容

##### ① 保護者説明会及び事前研修会

日程：2023 年 7 月 30 日(日) 9:00～12:30

場所：北九州市平和のまちミュージアム 多目的ホール

##### ② 青少年ピースフォーラム参加

###### 【当初予定】

日程：2023 年 8 月 8 日(火)～9 日(水) (1泊2日)

行程：8 月 8 日(火) 8:00～

市役所本庁舎集合・出発 → 【長崎市へ移動】 → 城山小学校見学 → 昼食 → ピースフォーラム(被爆体験講話聴講・フィールドワーク等) → 長崎原爆資料館 → 宿泊先(長崎市)

8 月 9 日(水) ～19:30

宿泊先 → 平和祈念式典への参加(一部は出島メッセにて式典同時中継を視聴) → 昼食 → ピースフォーラム(平和学習会(意見交換会)) →

【北九州市へ移動】 → 市役所本庁舎着・解散

###### 【台風による変更後】

日程：2023 年 8 月 8 日(火)

行程：市役所本庁舎集合・出発 → 【長崎市へ移動】 → 城山小学校見学 → 長崎原爆資料館 → 昼食 → ピースフォーラム(被爆体験講話聴講・フィールドワーク等) → 【北九州市へ移動】 → 市役所本庁舎着・解散

##### ③ 事後報告会(副市長報告)

日程：2023 年 8 月 23 日(水) 14:00～15:30

・ 14:00～ 副市長報告

・ 14:50～ 事後報告会

場所：北九州市役所本庁舎 3F 大集会室

概要：青少年ピースフォーラムでの学習について、市長への報告や感想を発表する。

## ■ 参加者

市内に居住する小学生(5、6年生)、中学生、高校生 20 名 ※ 応募者 71 名

| 区分 | 小学生   | 中学生   | 高校生   | 計      |
|----|-------|-------|-------|--------|
| 男  | 2( 7) | 2(10) | 2( 6) | 6(23)  |
| 女  | 4(19) | 6(20) | 4( 9) | 14(48) |
| 計  | 6(26) | 8(30) | 6(15) | 20(71) |

※( )は応募者

引率者として、市職員 2 名、ボランティア 4 名(大学生 2 名、高校生 2 名)、そのほかに看護師 1 名

## ■ 参加者の感想(抜粋)

- ・ 他学年の方々と交流しながら、視野を広げて資料館見学やフィールドワークを行えた。深く戦争を知ることができ、とても良い経験になった。
- ・ 戦争体験者が少なくなっていく現代で、被爆者講話や資料、遺跡を通して、当時の人の視点に立って、再度「平和」とは何かを考えることができた。
- ・ 戦争するとどうなるのか、核兵器を使うとどうなるのか、私たちの世代がきちんと伝えていき、平和のバトンをつないでいきたい。
- ・ 「他人事として考えずに自分事としてとらえる」ことが大切だと思う。
- ・ 戦争を二度としてはいけないということを家族や友達に伝えて、大きなうねりのもととなる小さな力になりたい。



## (2) 長崎市平和派遣事業

### ■ 概要

平和の大切さを親子で考えるきっかけとなるよう、長崎に原爆が投下された 8 月 9 日に、親子で長崎を訪れ、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参加、被爆遺構や長崎原爆資料館の見学などのほか、長崎市長への表敬を行う予定であったが、台風の影響により中止となった。

### ■ 日程及び内容(予定→全行程中止)

2023 年 8 月 9 日(火) 7:00~19:00

7:00~ 集合・出発式(JR小倉駅新幹線口)

10:35~ 平和祈念式典参加(出島メッセ長崎)

※ サテライト会場での映像中継及び献花

(昼食)

13:20~ 城山小学校、長崎原爆資料館の見学

- 15:00～ 長崎市長表敬(原爆資料館ホール)  
※ 参加者代表のあいさつ、長崎市長へ千羽鶴を贈呈
- 15:30～ 爆心地公園見学
- 16:00 長崎市出発
- 19:00 北九州市着・解散(JR小倉駅新幹線口)

■ 参加予定者

68組(136名) ※ 197組(394名)の応募があったため、抽選により決定  
引率者として、市職員2名(当館事務局長・職員)、ボランティア3名(社会人、大学生、高校生各1名)

### (3) 長崎～小倉 次世代交流平和推進事業

■ 概要

国連軍縮週間に合わせ10月に長崎市で開催される「市民大行進」に、北九州市の大学生等を派遣し、現地の平和活動に取り組む若者「青少年ピースボランティア」とともにボランティア活動に参加するなど、北九州市と長崎市の次世代を担う若者同士の交流を進め、平和の大切さを考える機会の充実と発展を図った。

■ 日程及び内容

2023年10月27日(金)

- ① 城山小学校見学
- ② 長崎原爆資料館見学
- ③ 被爆体験講話聴講
- ④ ミーティング

2023年10月28日(土)

- ① 「市民大行進」運営業務ボランティア(風船、チラシ配布等)
- ② 長崎市青少年ピースボランティアとの交流会

■ 参加者

大学生14名

引率者として市職員2名、ボランティア2名(大学生1名、高校生1名)

■ 参加者の感想(抜粋)

- ・ 実際の被爆者から直接お話を伺うことで、原爆の恐ろしさについて、より鮮明に感じることができた。
- ・ 長崎市長が私たちにメッセージをくださったことが、とても印象に残った。
- ・ 長崎に行って終わりではない。「今の私に何ができるか？」を問い続け、学生らしい発想で取り組んでいきたい。
- ・ 小学校教諭になったら、子どもたちに戦争と平和についての正しい知識を伝えるとともに、戦争の恐ろしさや平和の大切さを一緒に考えていきたい。
- ・ 自分が高校生の時よりも、長崎の高校生は平和に対する当事者意識を強く持っており、もっと積極的に平和について学びたいと思った。



## 5 広島市との交流事業(中・高校生ピースクラブ×北九州市学生による交流会)

### ■ 概要

広島市で平和活動に取り組んでいる「中・高校生ピースクラブ」に所属する中学生・高校生が「平和のまちミュージアム」に来館し、展示を見学するとともに、1945年8月8日の「八幡大空襲」の体験者・松尾高林氏をお招きして空襲体験の講話を聴き、北九州市の大学生・高校生・中学生と意見交換を行った。

意見交換は、グループに分かれ、「あなたにとってもっとも大切／当たり前のことは何ですか」、「今までの平和学習で学んできたことを誰に伝えたいですか、そしてその時何を大切にしたいですか」をテーマに実施した。

### ■ 日程及び内容

2023年10月8日(日) 8:30～13:00

8:30～ 平和のまちミュージアム見学、原爆犠牲者慰霊平和祈念碑訪問

9:30～ 八幡大空襲体験講話(松尾高林氏)

10:30～ 交流会(意見交換会)

12:00～ 昼食会

### ■ 参加者

広島市中・高校生ピースクラブ 23名(高校生10名、中学生8名、ボランティア5名)  
当館の長崎市への派遣事業に参加経験のある北九州市の学生や平和のまちミュージアムガイドボランティア9名(大学生4名、高校生3名、中学生2名)

### ■ 参加者の感想(抜粋) ※ 広島市中・高校生ピースクラブと北九州市の学生の感想

- ・ 改めて戦争のひさんさや平和の大切さ、命の尊さなどについて考えることができた。
- ・ 同世代の人と交流することで、これからの活動の参考となった。
- ・ この機会を大切に、もっと多くの人とつながったり、広く「平和の大切さ」等について発信していきたいと思った。



## 6 戦跡ツアー

### ■ 概要

北九州市には、200 件を超える戦跡があり、身近に戦跡が存在している。普段なかなか足を運ぶ機会のない、そうした戦争遺跡をめぐりながら解説を聞くことは、北九州地域における戦時を学び考える契機となる。こうした館外の遺跡巡りは、当館の「野外博物館」的な側面を開拓するためのモデルケースでもある。

戦跡の解説は、熊本学園大学商学部・市原猛志講師があたった。

### 【見学コース】

「旧楠橋国民学校奉安殿」～「体当たり勇士の碑」～「小伊藤山公園(復興平和記念像)」  
～「旧百三十銀行・豊山公園」～「牧山高射砲陣地跡」～「軍艦防波堤」

### ■ 日時

2024 年 3 月 23 日(土) 9:30～15:50

### ■ 参加者

18 名



## 7 連携事業

### (1) 北九州市立大学学芸員課程への協力

#### ■ 担当授業

博物館展示論(2023 年度後期) ※ 全 15 回のうち 3 回

#### ■ 講義担当職員

平和のまちミュージアム学芸員 小倉徳彦

#### ■ 講義内容

- ① 平和のまちミュージアムの常設展示について
- ② 歴史資料の展示および展示に関わる諸問題
- ③ 平和のまちミュージアムの企画展示

#### ■ 概要

北九州市立大学文学部が開講する、学芸員資格取得のための授業のうち、オムニバス形式で北九州市内の博物館の学芸員等が登壇する「博物館展示論」のうち、3 回分の講義を平和のまちミュージアムが担当。平和のまちミュージアムの展示設計や、歴史系博物館の展示等について、講義を行った。受講者にはレポートを課し、成績評価の一部も担っている。

## (2) 大学の講義・演習による利用への対応

北九州市立大学をはじめとする周辺の大学が、講義や演習のなかで、当館を利用するケースが複数あった。平和学習により学校単位で訪れる機会がある小学校、中学校に比べ、大学生がアクセスする機会は極端に少なくなる。

大学教育のなかで、当館をどのように有効活用しうるかは、一つの課題であり、平和教育という文脈だけでなく、地域の近現代史のミュージアムとしての可能性を広げる意味でも試行錯誤を重ねていく必要がある。

### ■ 北九州市立大学文学部 地域文化資源演習

担当：真鍋昌賢教授 他

受講者：当館で演習を実施したものは1名

時期：2023 年後期学期

概要：同科目は、「市内の文化施設を見学し、文化施設そのものと、その常設展示を紹介するポスター等をグループで作成する」ことを通して、「文化資源の発見や継承、活用、課題解決等に向けた基本的な手法や考え方」について学び、「地域の文化振興に寄与する人材育成」を目指すことをうたっている(北九州市立大学シラバスより)。

当館は、2022 年度に続き、2023 年度もその対象文化施設の一つとして選ばれ、学生が見学のために来館した。成果物としてポスターが作成された。

### ■ その他、大学による当館の利用

九州女子大学、西日本工業大学、筑紫女学園大学、青山学院大学、九州国際大学、福岡大学、福岡女学院大学などから団体の見学があった。

## (3) 北九州市立市民センターとの連携講座

北九州市立市民センターと連携し、認知症予防・健康講座「平和のまちミュージアムの展示を見て、昔のことを思い出し、みんなで語って脳リフレッシュ！」を実施した。

記憶を呼び起こし、その当時の話をすることは、脳を刺激し、認知症予防にもなる。この講座では、学芸員等の案内で当時の展示を見学し、関連する昔の暮らし(戦時中、高度成長期、公害等)を思い出してもらい、蘇った思い出を発表し、参加全員で共有した。

| 日程       | 市民センター名             | 参加者数 |
|----------|---------------------|------|
| 1月16日(火) | 東戸畑市民センター、西戸畑市民センター | 25名  |
| 2月1日(木)  | 企救丘市民センター、志井市民センター  | 17名  |
| 2月14日(水) | 清水市民センター            | 15名  |
| 2月20日(火) | 赤坂市民センター、医生丘市民センター  | 18名  |

## (4) 小倉城庭園との連携講座

### ■ 主催

北九州市平和のまちミュージアム、北九州市立小倉城庭園

■ 講座テーマ

「私たちのまち“小倉”を考える」

■ 日程

2023年12月3日(日)、10日(日)、16日(土)

■ 場所(第1回及び第2回)

北九州市立文学館 交流ひろば(小倉北区城内4-1)

■ 参加者

12月3日 25名、10日 25名、16日 22名

■ 概要

12月3日は小倉城庭園の中川館長、10日は当館の小倉学芸員、16日は熊本学園大学専任講師の市原猛志氏が講師を務めた。中世以前の小倉や戦時下の暮らしについての講座や施設見学、戦跡や史跡をめぐるなど、参加者が小倉という地域について深く考えることのできる講座とした。

## (5) 原爆犠牲者慰霊平和祈念式典サテライト会場設営

■ 日程

2023年8月9日(水)

■ 概要

勝山公園で行われる原爆犠牲者慰霊平和祈念式典のサテライト会場として当館を開放し、式典の様態をリアルタイムで配信する予定であったが、台風の影響により式典は中止となった。

## (6) リアル桃太郎電鉄～週末のKITAKYUバトル！！～(北九州モノレール編)

■ 日程

2024年1月28日(日)～2024年2月11日(日)の土日限定(計5日間)

■ 概要

人気ゲーム「桃太郎電鉄」とコラボした、株式会社 THE QUIZ TEAM 主催のイベント。参加者はアプリ内で出たサイコロの目だけ実際に北九州モノレールの駅を進み、停車駅で地域にまつわるクイズを解いていながら競い合うというもの。当館は、クイズ設置ポイントとして協力し、普段平和学習になじみの薄い層や親子連れを施設に呼び込むことができた。

## 8 講演

当館の学芸員をはじめとする職員が、依頼を受けて、以下のような講演を行った。

## (1) 出前講演

| 日程        | イベント名                       | 講演タイトル                          | 場所                    | 担当          |
|-----------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------|-------------|
| 7月29日(土)  | 第3回枝光<br>平和の集い              | 「枝光と4つの<br>空襲」                  | 北九州市立<br>枝光市民セン<br>ター | 小倉徳彦<br>学芸員 |
| 8月26日(土)  | 北九州市立<br>小倉南図書館<br>講演会      | 「北九州と戦争・<br>軍隊」                 | 北九州市立<br>小倉南図書館       | 小倉徳彦<br>学芸員 |
| 11月17日(金) | 北九州市立平<br>野市民センタ<br>ー「平野大学」 | 「平和のまちミュ<br>ージアムからみ<br>る北九州と戦争」 | 北九州市立<br>平野市民セン<br>ター | 小倉徳彦<br>学芸員 |

## (2) 北九州市民カレッジ

### ■ 担当

平和のまちミュージアム館長 重信幸彦

### ■ 講座タイトル

『新・平和学習』のあり方を考える」第1回講座「平和のまちミュージアムからの問い」

### ■ 主催

北九州市立生涯学習総合センター

### ■ 実施日時

2023年6月3日(土) 14:00~16:00

### ■ 場所

北九州市立生涯学習総合センター

### ■ 概要

平和のまちミュージアムの常設展示の写真資料等をスライドで紹介しながら、総力戦下の銃後のありようについて講義した。

## (3) 紙芝居「忘れない嘉代子桜・親子桜」完成披露 講評

### ■ 担当

平和のまちミュージアム館長 重信幸彦

### ■ 主催

湯川小学校読み聞かせボランティア「ひだまり」

### ■ 日時

2023年8月6日(日) 14:00~15:00

### ■ 場所

北九州市立小倉南生涯学習センター

### ■ 概要

湯川小学校保護者が結成した読み聞かせボランティア「ひだまり」により作成された紙芝居「忘れない嘉代子桜・親子桜」が、戦争の記憶の継承に果たす可能性について話をした。

#### (4) 第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会(会議Ⅰ)における取組事例の報告

■ 担当

平和のまちミュージアム 館長 重信幸彦、職員 原昭仁

■ 主催

平和首長会議

■ 日時

2023年10月19日(木) 9:30~11:45 (総会二日目)

■ 場所

姫路市文化コンベンションセンター アクエリひめじ

■ 概要

総会の中で、平和首長会議の国内加盟都市における「平和に関する取組事例」として、「北九州市の平和への取組 平和のまちミュージアムの実践から」と題して報告した。

#### (5) 令和5年度 八幡西区家庭教育学級 人権講演会

■ 担当

平和のまちミュージアム館長 重信幸彦

■ 主催

北九州市八幡西区コミュニティ支援課

■ 日時

2023年11月8日(水) 14:00~16:00

■ 場所

北九州市立子どもの館 HOW!? 子どもホール

■ 概要

「平和をつなぐために ~北九州の歴史から学ぶ~」というタイトルで、平和のまちミュージアムの常設展示の写真などをスライドで紹介しながら、総動員体制下の銃後の暮らしについて話をした。

#### (6) くまもと戦争と平和のミュージアム設立推進特別講演会

■ 担当

平和のまちミュージアム館長 重信幸彦

■ 主催

一般社団法人 くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会

■ 日時

2023年12月24日(日) 13:00~16:00

■ 場所

熊本県民交流館 パレアホール

■ 概要

作家・梯 久美子氏の基調講演「あの戦争を記憶する」に引き続き行われた「平和ミュージアムの現状と課題」をテーマとしたパネルディスカッションにおいて、くまもと戦争と

平和のミュージアム設立準備会理事長・小山和作氏、作家・梯 久美子氏とともに登壇し、北九州市平和のまちミュージアム設立の経緯と、展示活動内容と、課題などについて発言した。

## 9 映像制作

### (1) 館内案内動画

#### ① スタディツアー用

学芸員が館内展示のポイントなどを紹介する映像を作成し、主にスタディツアーで活用することとした。スタディツアー冒頭でこの映像を見ることにより、これから学習することや注意点などをあらかじめ理解してから館内見学に臨めるようになった。

#### ② 一般用

学芸員が館内展示の見どころを紹介する映像を作成して、展示室入口でリピート再生し、サービス向上を図った。

### (2) DVDビデオ「嘉代子桜」

#### ■ 概要

長崎原爆の実相を伝える市民グループ「ピースバトン・ナガサキ」が制作した、紙芝居「嘉代子桜」は、長崎原爆により城山小学校で亡くなった林嘉代子さんとそのお母さん、お母さんが嘉代子さんを偲んで植えた桜の物語である。

北九州市民にもなじみが深いこの紙芝居を、学校での平和学習においてより使用しやすいように映像化し、平和学習の教材等として貸し出している。

#### ■ 時間

10分54秒

### (3) DVDビデオ「北九州 ～戦争の記憶～2 私たちの約束」

#### ■ 概要

軍都北九州、八幡大空襲、長崎原爆等について紹介する「北九州 ～戦争の記憶～ 私たちへの伝言」の続編にあたるもの。前作に引き続き北九州市出身で女優の吉本実優さんの進行で、戦争末期、戦後の混乱期を体験した方の壮絶な体験談やこれからの北九州市を担う若者たちの平和への想いなどを織り交ぜた内容の作品。平和学習の教材等として貸し出している。

#### ■ 時間

21分11秒

#### ■ 完成発表会

日時：2023年3月26日(火) 14:00～14:50

場所：北九州市平和のまちミュージアム 多目的ホール

次第：14:00 武内北九州市長の挨拶

14:03 重信館長の動画紹介

14:10 出演者コメント(吉本実憂氏、北九州市の若者コメント)

14:20 質疑応答

14:30 試写会

## VIII 広報

### 1 ホームページ・SNS関係

#### (1) ホームページの運用

開館時からホームページを開設し、随時更新を行っている。常設展示室の紹介、展示替えをはじめ、企画展やイベントの告知を行っている。

#### (2) LINE・ツイッター(現 X)の活用

LINEやツイッター(現 X)での情報発信を開始し、特別企画展をはじめとする各種イベントや案内等を随時行った。

#### (3) 学芸員日記

北九州の戦争・平和に関連するエピソードや歴史資料の解説、また、当館の取り組みなどを学芸員の視点で紹介する「学芸員日記」を隔週金曜日に公式ホームページで発信した。また、連載 50 回を記念して、日記の内容を冊子にまとめ、館内で販売した。

#### (4) Wi-Fi の提供

入館者へのサービスとして、Wi-Fi を無料で公開している。

### 2 西日本新聞北九州版への連載

#### ■ 期間

2023 年 5 月から第 1 木曜日、第 3 木曜日の月 2 回連載

#### ■ 概要

「想い つなぐ」をテーマに、「平和のまち 北九州」に関することを連載する。市民の知的な関心に訴えるとともに、普段は詳しく語ることのない当館の展示の姿勢や史資料の調査研究をはじめとするバックヤード業務、企画展の構想過程など、広く親しみをもっていただける内容を発信している。

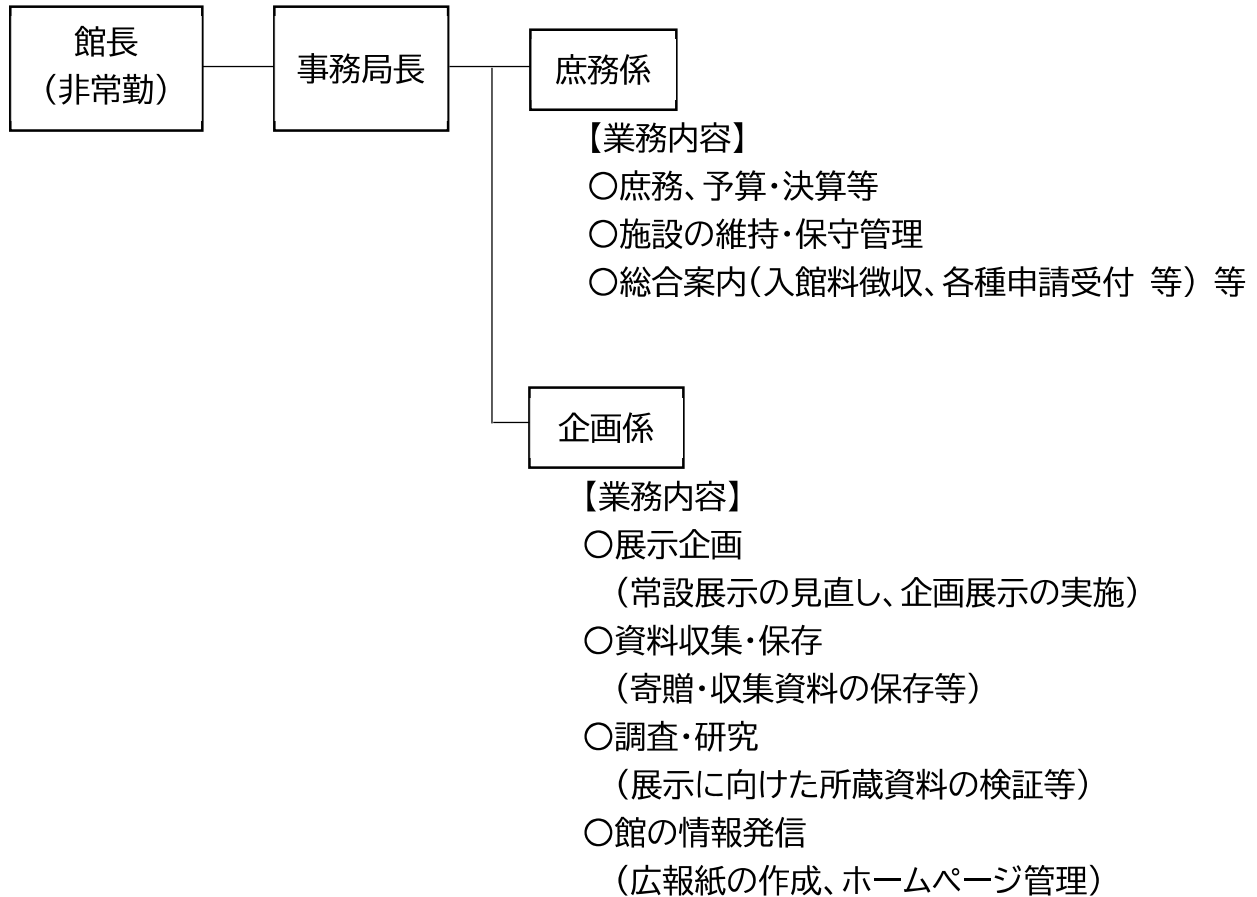
#### ■ 執筆者

平和のまちミュージアム 館長 重信幸彦、学芸員 小倉徳彦、学芸員 水谷桃子

## IX 組織

### 1 管理運営(事務局)

7名の職員(うち学芸員2名)で当館の運営を行っている。



### 2 北九州市平和のまちミュージアム運営懇話会

#### (1) 概要

##### ■ 設置目的

「北九州市平和のまちミュージアム」の運営や展示等について、有識者等から意見を聴取し、今後の運営や事業の参考にするため「北九州市平和のまちミュージアム運営懇話会」を設置する。

##### ■ 審議事項

- ・ 当館が実施する運営(事業計画・実績報告)に関する事
- ・ 当館が実施する事業・展示に関する事 等

##### ■ 任期

2年間(2022年8月25日～2024年8月24日)

##### ■ 委員名簿(所属は当時のもの)

委員構成5名(うち女性3名:女性比率:60%)

| 氏名     | 所属・補職                                 | 備考  |
|--------|---------------------------------------|-----|
| 近藤 倫明  | 北九州市立大学名誉教授                           | 座長  |
| 佐方 はるみ | 九州女子大学教授                              | 副座長 |
| 戸高 一成  | 呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)館長                 |     |
| 出口 敬子  | 聞き書きボランティア「平野塾」副代表                    |     |
| 財津 梨花  | 北九州市立大学文学部4年<br>(桜丘小学校学習支援プロジェクトメンバー) |     |

## (2) 運営懇話会開催状況(第2回運営懇話会)

### ■ 開催日

2023年8月24日(木) 10:00~11:30

### ■ 報告及び議題

- ・ 報告 平和のまちミュージアムの集客事業について(今後の方向性)
- ・ 議題 集客事業について(今後の方向性)

### ■ 主な意見

#### 【集客に向けての取組】

- 雑誌などでの広報の場合、できるだけ記事として取り扱ってもらった方が効果があると思うので、そうした働きかけを行うべき。
- 一年のうちで季節により、来館者の多い少ないがあると思うが、運営上はそれほど気にすることはなく、少ない時期には、資料の整理や研究などに力を入れれば良い。
- イベントをやるにしても、うまくできたこと、できなかったことを見える化し、分析したうえで次につなげることが重要。
- 高校修学旅行は全国的に1月など冬に行われることが多い。冬が閑散期ということなので、高校の修学旅行に対象を絞るのもよいかもしれない。
- 高齢者の方が集団で、いろいろなところに行くという可能性もあるので、少し幅を広げて働きかけを行うことも必要。

#### 【誰もが立ち寄りやすいミュージアムの環境づくり】

- 来館者が、それぞれの立場で利用しやすい環境をつくる必要がある。例えば、平和のまちスタディツアーが多い時期には、それを主にした館の運営(机、椅子の配置など)を行う。
- 音楽や絵画など芸術的な要素を取り入れると良いのではないかな。

#### 【平和学習の拠点施設としての機能向上】

- 将来のことも踏まえて、空襲体験だけに限らず戦後の復興に関する証言も今のうちから、ひろく集めておくことが必要ではないかな。
- 学生ボランティアについては、こういう企画があるということを、まず、学生に届けないと参加してもらえない。どうアプローチしていくかが大事。

**【施設の評価を行うための指標】**

- 学ぶための場所であるということを前提に、来館者数などの数字だけでなく、アンケートなどによる来られた方の評価もあわせてどう評価すべきか考えるべき。そのためにも、データの収集、蓄積が必要。